

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

将来のめざす姿

最も多くのお客様から信頼されることによって、最も多くの社会貢献をなす企業（グローバル・メジャー・ブランド）

② 中長期の経営戦略

1. 全社の経営体制改革

機械事業と水・環境事業の事業特性に合わせた運営体制を構築。機械事業は機構改革で効率化と迅速な意思決定を実現。水・環境事業は2025年1月にカンパニー化して自立運営へ移行。

2. 両利きの経営

既存事業の深化と新規事業の探索を両立。新規事業探索の研修強化、挑戦風土の醸成、M&A活用、農業ソリューション本部による新規事業開拓で付加価値向上と稼ぐ力の回復をめざす。

3. キャッシュの効率的活用

新中期経営計画の財務目標達成のため、全社最適配分を意識しながら事業維持投資と成長投資のバランスを厳格にコントロール。

4. AI活用・DXによる業務刷新

定型業務の改善に加え、定型業務以外での改善と提案能力の向上を追求。会社全体での本格的な業務刷新を推進。

③ 対処すべき課題

① 収益性・資本効率の向上

- ・売上高の増加に対し営業利益率が低下傾向。競争力低下と固定費高止まりが課題。
- ・成長投資の成果としてフリーキャッシュフローが低水準。設備投資、IT投資、研究開発投資のコントロール不十分。
- ・ソリューションビジネスが十分に生み出せておらず、ヒット商品の創出が少ない。

② 既存事業における競争力強化

- ・機械事業は事業部門と本社部門の機能重複による非効率化と意思決定プロセスの複雑化が課題。
- ・水・環境事業はさらなる事業成長促進が必要。

③ 新規事業開発と風土改革

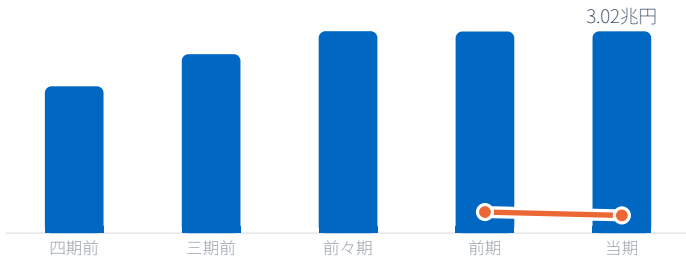
- ・新規事業探索に本格的に取り組む必要がある。
- ・多様な人材が力を発揮して挑戦できる風通しの良い風土と企業文化の確立。

面接で使えるポイント

- ・GMB2030ビジョンで「命を支えるプラットフォーマー」を掲げ、社会課題と経済価値の創造をめざすK-ESG経営に注力。
- ・機械事業では「小さい機械で大きな仕事を」のコンセプトで、ITやAI技術を活用したイノベーション推進。
- ・水・環境事業では製品・技術を核としたソリューション提供で社会インフラの強靱化に貢献。

証券コード 6326

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.02兆円営業利益率
8.8%財務健康度
48点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 61.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
861万円

機械内 22位/208社

平均年齢
39.9歳

機械内 180位/209社

平均勤続
14.3年

機械内 139位/209社

女性管理職
5.1%

機械内 59位/168社

男性育休
92.3%

機械内 54位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: クボタ×NewsPicks 起業家精神に富んだ農業生産者を表

